

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2021～22年度 大宮西ロータリークラブ週報



創立：1963年3月22日

会長 福田 和子

例会場：パレスホテル大宮

幹事 押野 一郎

第2721例会 2022/02/14

例会日：月曜日 12:30～13:30

雑誌・会報委員会 廿野 幸一

発行日 2022/02/28

会長挨拶

会長 福田 和子

皆さんこんにちは。ハッピーバレンタイン！心より皆さんに愛を送ります。埼玉県に出されているまん延防止等重点措置の期間が、3週間延長になりました。もう少しの我慢です。

さて、この寒さの中、皆さんは体を動かすことを何かされていますか。私は相変わらずゴルフを続けており、コースに行かないと具合が悪くなります。ゴルフでは、たくさんのルールがあります。例えば、ボールの救済（ショットしたボールが打てない場所やスイングできない場所に止まった時に、ボールを置きなおしプレイを再開すること）を受ける時、ニアレストポイントの設定の仕方があります。また、誤球といい、誤って他人のボールを打ってしまった場合には、2打罰（2打を付加して打ち直す）となります。などなど、プレイするには決まりを守らなければなりません。公式な競技会（大会）で、スコア（打数）を過少申告した場合は、失格となります。

失格と言えば、先日、北京冬季五輪の新種目“ノルディックスキー・ジャンプ混合団体”での出来事が印象的でした。日本は、一番手の高梨沙羅選手がジャンプスーツの規定違反で一回目失格となり、その後の追い上げも届かず4位に終わりました。失格の対象となったのは、スーツの太もものサイズでした。ボディーと一致しないスーツは、翼を広げたムササビと同じで浮力を得やすいため、国際スキー連盟（FIS）は、ボディーとスーツの隙間といったサイズ、空気の透過量などを



細かく定めています。女子選手の場合は、その誤差を4cm以内に抑えなければならないのです。色によっても通気性が異なるとも聞きます。企業は用具開発競争にしのぎを削っているとのこと。標高や気温の低さでも体力・筋力が変わり、太ももが細くなってしまいますですね。今回、スキージャンプ競技においても細かいルールがあることを知りました。

ロータリーにおいても3原則、ルールがありますね。会費を納める事、例会に出席する事、ロータリーの友を読む事。コロナ禍で外出の機会が少なくなりました。ロータリーの友を読む時間が普段より多くあると思います。アフターコロナには、深い知識の下、ロータリーライフを楽しんでください。

これにて会長挨拶といたします。

幹事報告

副幹事 永井 博

例会の開催方法についてご案内します。当面はZoomのみ、3月14日（月）からはハイブリッド（対面とZoom）での開催を予定しています。状況に鑑みて進めてまいります。

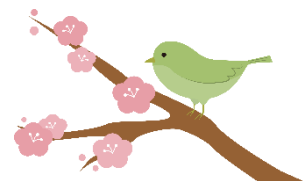
次回、2月21日（月）は休会です。



委員長報告



■幹事エレクト 榎本 貞寿
2月15日（火）18:30から、理事役員予定者会議があります。



心に夢を 奉仕に行動を

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



卓 話

60周年を踏まえた 3ヶ年戦略計画展望について

- 長期計画委員会 委員長 荒井 伸夫
- 長期計画委員会 副委員長 渋谷 廣慶
- 長期計画委員会 委員会幹事 内山 泰成



ご挨拶
 ■ 長期計画委員会
 委員長 荒井 伸夫

ただいま第2次の最終年度
 になります。
 来年度からは、新しい第3
 次3年計画になります。

「ビジョン」について
 ■ 長期計画委員会
 副委員長 渋谷 廣慶



ビジョンについてお伝えいた
 します。
 本日は、皆様から意見をお同
 いする、というスタンス。
 RIからの明確なロータリービジョン声明を改め
 てご覧いただきます。

ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で
 そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
 人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

「地域で一番になろう」
 今までやってきたクラブのビジョンですが、
 それを深めて方向性を作っていく必要がある
 と考えます。

第3次3年の計画を説明します。
 ■ 長期計画委員会 委員長 荒井 伸夫

クラブ・地区・RIとあり、これまでは別々にや
 ってきたが、それぞれの段差を埋めていこうと
 しています。

優先事項1: より大きなインパクトをもたらす	優先事項3: 参加者の積極的なかわりを促す
優先事項2: 参加者の基盤を広げる	優先事項4: 適応力を高める

クラブではクラブでやらなければいけないこと
 があり、その調和が難しいところです。



新しい長期計画の概要…クラブのビジョンを
 どこまでRIのビジョンに近づけるか

2022-23年度 大宮西ロータリークラブ戦略計画（案）

2022-23年度 大宮西ロータリークラブ戦略計画（案）			
ビジョン			
戦略目標① より大きなインパクトをもたらす インパクトのある奉仕活動により ブランドイメージを向上させ 魅力ある団体であり続ける	戦略目標② 参加者の基盤を広げる ロータリーへの新しい経路を創出し ロータリーの関与性とアピール力を高める 会員増強維持を図る	戦略目標③ 参加者の積極的なかわりを促す ロータリーの奉仕の機会を積極的に 経験と交流を深め 会員及び参加者の積極的な参加を促す	戦略目標④ 達成力を高める リスクを分散し、変化をもたらす 新しい視点や考え方を導入することで クラブ強化と達成力を高める
戦略ポイント ・ポリオの根絶 ・活動成果と測定能力の向上 ・感動を共有できる新規事業の開発	戦略ポイント ・日々の能力経験と考え方を生かす習慣 ・会員増強の新たな手段 ・他団体等クラブ外への働きかけ	戦略ポイント ・会員出席率向上と参加者増加の手段 ・新たな会員、参加者交流の方法 ・新会員対応や会員研修手法の確立	戦略ポイント ・奉仕活動の成果を可視化し、事業の改善 ・継続、持続を利便 ・体制の刷新によりリスクを減らす ・他団体のノウハウから新機軸へ導入
3年目標 ①地域ニーズに合った成果検証ができる、 持続可能な新規事業の開発 ②グローバルな視点に立った環境問題、ポリオ 撲滅への取り組み ③事業で多くの参加者と交流し、クラブのブラン ドイメージを向上させる ④国内外に新規友好クラブの提携を進め、合同 奉仕活動も検討する	3年目標 ①全てのメンバーが会員増強に関わり 会員数150名、女性会員20名を達成 ②クラブ内外に幅広く多様なネットワー クを構築し、新しい参加経路を創出 ③ロータリーを積極的に内外の他へ発信 ④RACの強化と、RACの再編を検討 ⑤奉仕、会社との経験と交流を深めて、 参加者の基盤を広げ多様化する	3年目標 ①会員、参加者相互の交流の場を増やし ロータリーを楽しむ機会を増やす ②ロータリー経験を促す研修を各報毎 に実施しリーダーの育成を図る ③世代を超えた人的、職業的繋がりを 促しクラブの人流を活発化する ④参加者中心のプログラムを開発し、 会員満足度も向上させる	3年目標 ①奉仕活動の成果を可視化し、事業の改善 や継続、持続を利便 ②体制の刷新によりリスクを減らす ③新たな交流手段としてSNS、ZOOM等 効果的な手段を取り入れる ④会員増強に合わせた社会貢献の工夫 ⑤他団体のノウハウから新機軸へ導入
年度別年度目標			

■ 戦略目標① 「より大きなインパクトをもたらす」

インパクトのある奉仕活動によりブランドイメ
 ージを向上させ、魅力ある団体であり続ける

- 戦略ポイント
 - ・ポリオの根絶
 - ・活動成果と測定能力の向上
 （活動を測定して評価する）
 - ・感動を共有できる“新規事業”の開発
- 3年目標

- ①地域ニーズに合った“成果検証”ができる、
 持続可能な新規事業の開発
- ②グローバルな視点に立った環境問題、ポリオ
 撲滅への取り組み
- ③事業で多くの参加者と交流し、クラブのブラン
 ドイメージを向上させる
 （クラブ内でとどまらず外へも）
- ④国内外に新規友好クラブの提携を進め、合同
 奉仕活動も検討する
 （国内の友好クラブも。海外は英語圏のクラブ
 はどうだろう…英語に接する機会を）
 来年の世界大会はメルボルン。
 新しい友好クラブを。

■ 戦略目標② 「参加者の基盤を広げる」 （外部の人をどう取り込むかが大事）

ロータリーへの新しい経路を創出し、ロータリ

一の開放性とアピール力を高め、会員増強維持を図る

●戦略ポイント

- それぞれの能力、経験と考え方を生かし包摂（取り込んで育む＝インクルージョン）
- 会員増強の新たな手法
- 他団体等クラブ外への働きかけ（価値観が共有できる団体と）

●3年目標

- ①全てのメンバーが会員増強に関わり、会員数150名、女性会員20名を達成したい
- ②クラブ内外に強固で多様なネットワークを構築し、新しい参加経路を創出
- ③ロータリーを“理解”し、内外の他者へ発信（クラブ内へも発信）
- ④IAC（インターアクト）の強化と、RAC（ロータリーアクト）の再開を検討しては（新しい展開で）の再開を検討しては
- ⑤家族、会社との親睦や交流を深め、参加者の基盤を広げ多様化する（ロータリーへの関心を深めてもらう）

■戦略目標③
「参加者の積極的なかわりを促す」

ロータリーの奉仕の理念を理解し、親睦と交流を深め会員及び参加者の積極的な参加を促す

●戦略ポイント

- 会員出席率向上と参加者増加の手法
- 新たな会員、参加者との“交流”の方法
- 新会員対応や会員研修手法の確立（新人だけでなく中堅・ベテランへも対応）

●3年目標

- ①会員、参加者相互の交流の場を増やしロータリーを“楽しむ”機会を増やす
- ②ロータリー理解を促す研修を、各段階毎（新人・中堅・ベテラン）に実施し、リーダーの育成を図る
- ③世代を超えた人的・職業的繋がりを促し、クラブの人流を活発化する
- ③参加者中心のプログラムを開発し、会員満足度も向上させる

■戦略目標④
「適応力を高める」

リスクを恐れず変化をもたらす新しい視点や考え方を追求することで、クラブ強化と適応力を高める（新しい視点で新しい文化を）

●戦略ポイント

- 奉仕活動の成果の確認と見直し
- 組織体制、運営面の強化と簡素化
- 価値観を守りながら新時代へ適応

●3年目標

- ①奉仕事業の成果を見極め、事業の改善や継続を判断
- ②体制の“簡素化”によりスムーズな運営
- ③新たな交流手段としてSNS、Zoomなどの効果的なITの手法を取り入れる

④会員規模にあった例会運営の工夫（重点を置くものは重点を置く）

⑤組織体制を見直し、60周年“以降”の効果的な新体制の確立

「あくまでも3年計画です。世の中の状況、時代にマッチしたものを作っていきたいと考えます。」

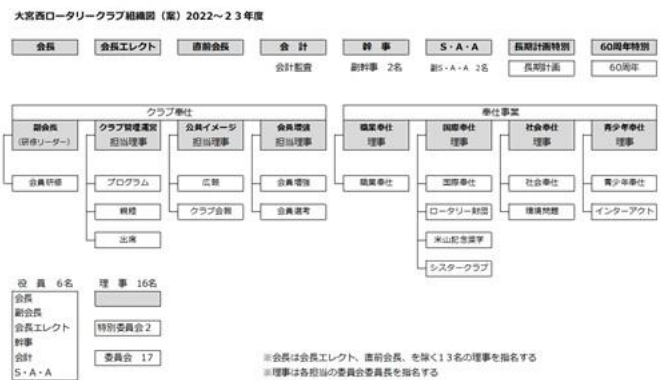
年度年次目標は、それぞれの会長さんが作るものです。3年計画の中の重点項目をお話しました」



新しい組織計画について
■長期計画委員会 委員会幹事 内山 泰成



「適応力を高める」のひとつ、組織を簡略化、組織体制を見直す → 新しい組織図を



①縦系列から、横に並ぶ形（文鎮型）にと配慮

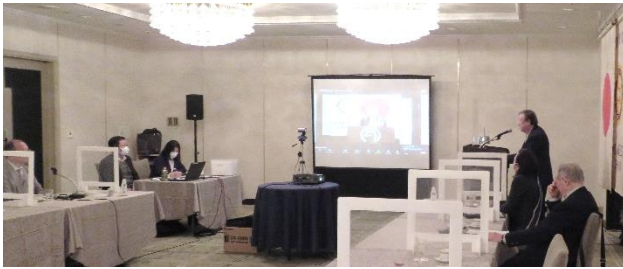
②理事が部門をまとめ、委員長が委員会を運営する形

③ロータリーの5大奉仕にこだわりクラブ・職業・国際・社会・青少年の5つの奉仕部門
委員会の役割が見えてくる
財団部門は国際奉仕の一環とする

④60周年以降の効果的な新体制
会長がすべてを指名 → 会長は役員理事のみを
指名 → 各理事が委員長を指名
新たな活発な人流を期待

⑤自分の希望する委員会に所属できるように配
慮願いたい
できれば、2つ以上の委員会（クラブ奉仕と、
奉仕事業の委員会）に属してほしい

「原型として委員会で提案いたします。
会員相互の交流が深まればいいなと思います」



■長期計画委員会 委員長 荒井 伸夫
「ご意見がありましたら、委員会にご一報いた
だければ幸いです。
クラブのビジョンは、皆さんのご意見を入れ作
っていきたいです。奮ってご意見を」

「戦略計画は、皆さんが行動に移さなければな
りません。
そのための参考資料としていただきたいと思
います。ご活用ください」

お知らせ

ホームページに、
例会参加ボタンができました！



トップページ、集合写真のすぐ下に設置。
これをクリックすると、Zoom ID やパスワード
の入力なしで Zoom 例会に参加できます。

お知らせ欄も随時更新しております。
ぜひ、ご活用ください。

